

2023仙台市議選 立候補予定者 こども子育て政策に関するアンケート

回答者名【 佐藤わか子 】 立候補予定選挙区【 青葉区 】

問1. 仙台市では、保育所の空き定員等を活用した未就園児の定期的な預かりモデル事業を行っていますが、どのように評価していますか。

私としては、このモデル事業を評価しています。今、保育所の大きな問題として定員割れの問題があります。今後経営が厳しい保育所が出てきて、閉園する所が増えてくれば、待機児童の問題がまた起きてくる可能性もあるからです。

問2. 仙台市発達相談支援センター（アーチル）が、受付から相談対応まで最大4ヶ月かかることに対して、どのようにお考えですか。

仙台市の大きな問題として、アーチルがあります。北部と南部に2か所ありますが、相談まで待ち時間が長すぎます。今、様々な提案をして、かなり短くなってきましたが、それでも他都市と比較すると時間がかかりすぎます。今、アーチルの改革を進めていて、児童発達支援事業所に繋がる受給者証は、状況に応じて相談の前でも発行出来るように改善している所です。

問3. 厚生労働省は、インクルージョンを推進していく上では、児童発達支援と幼稚園・保育所等との併行通園を推奨していくことが重要としていますが、どのようにお考えですか。

私も同じ考えを持っていて、東京の桜キッズの取り組みを仙台に導入しようとしたのですが、アーチルの問題があり、うまく行きませんでした。今、個別に沢山の相談が寄せられているので、個別ではありますが、何件か併行通園してもらっています。仙台市として取り組むよう働きかけをしています。

問4. 仙台市には、障害のある子どもを保育園に預けたくても預けられず、就労を諦めている人が一定数おられます。この現状についてどう思われますか。

私が議員になった24年前は、障がいのあるお子さんを持っている方は、働く事が難しかったです。24年前に、仙台市で初めての放課後児童ディサービスを開設しました。その辺りから、保育所に障害のあるお子さんが入園された時の、保育士の加配も導入して頂くようになり、だいぶ改善されて来たのですが、まだまだ十分ではないと言う事ですね。

問5. 仙台市の医療的ケア児の保育所受入れ人数は100万人当たり4.6人で、政令指定都市20都市中17位です。この現状についてどう思われますか。

医療的ケア児の受け入れ体制は、かなり増えましたが、実際に保育所に入れるかどうかの判断に迷っている保護者の方が、かなりおられます。個別に相談を受けているのですが、やはり預けるのが怖いと言う方もおられます。医療的ケアの問題は、保育所だけでは無いので、個別に寄り添っていく事が重要だと思っています。医療的ケア児の保護者の皆さんと連携して要望活動などを行なっています。

問6.その他、コメントあればお願いいたします。

子ども達のために、日本を変える
Florence